

(右から) 北見道路事務所 谷内所長、相生振興公社 伊藤代表取締役、伊藤取締役統括部長



多くの人がクマヤキを高評価

道の駅「いちおしのおいしいもの」部門で2位

道の駅スタンプラリーの完走者が選ぶ「道の駅」ランキング2022で、「いちおしのおいしいもの」部門において、あいおいのクマヤキが3年連続で2位に選出。12月1日に北見道路事務所の谷内所長が庁舎を訪れ、相生振興公社の伊藤代表取締役に賞状を手渡しました。



元横綱白鵬(右)と記念写真を撮る池田湊さん(左)

池田湊さんが奮闘

第72回天皇杯「全日本相撲選手権大会」

12月3日、両国国技館で開催された相撲大会に池田湊さん(津小5年生)が出場しました。全国で勝ち上がってきた33名が参加する中、池田さんは1回戦目に広島県の代表と対戦。惜しくも敗れましたが、「この経験を次に繋げたい」と決意を新たにしました。

渋谷から津別へ



なまため まり
生天目 真里
協力隊1年目。歌手活動や会社員などを経験し、着任前はイラストレーターとして活動。

はじめまして。地域おこし協力隊の生天目 真里(なまため まり)と申します。11月12日に東京都渋谷区から津別町に引っ越ししてきました。会社員時代に職住近接に憧れて都心に移り住みましたが、コロナ禍を経て場所を問わない仕事をしていくこともあり、どこに拠点を置くかをずっと迷っていました。都会の窮屈な生活に疲れてきた時、知人から津別町の話聞いて興味を持ち、協力隊インターンに応募しました。

2週間の滞在中、津別峠などの観光スポットへ行き、各飲食店でグルメを堪能し、つべつ産業まつりで

地域おこし協力隊の思い出日記

その 105

若者の躍動！ 津別町で活動する青年たち

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください

高齢化率が45%を超えている津別町ですが、若者が元気に活動しています。2023年12月16日、町民会館で津別高校2年生が、津別町の課題と解決策をテーマにした総合授業「つべつ学」の成果発表を行いました。この授業をサポートしているのが、高大連携事業で町に訪れている北海道大学学生団体 HALCC (ハルク) のメンバー。今年11月に「地方創生☆政策アイデアコンテスト2023」で北海道経済産業局長賞を受賞した HALCC が、来年度津別町で行う新事業を発表！また津別高校生のフレッシュでユニークな発表の数々をご紹介します。さらに津別町農業者トレーニングセンターに若者の元気な声が！青年団体プロジェクト and のメンバーが、美幌町、訓子府町、置戸町の若者たちと4年ぶりとなる交流イベントを行いました。今年結成10周年の青年団体プロジェクト and の思いとは？津別町を盛り上げるべく活動をする「若者」の今を取材しました。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、ウッドルーム(大通棟)、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日ごろ更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎77-8374



命の大切さを学ぶ

津小で人権教室を開催

12月5日、北見人権擁護委員協議会美幌ブロックの人権擁護委員による人権擁護教室が小学1年生を対象に開催されました。人権擁護委員が人権について説明後、命の大切さをテーマにしたDVDを視聴。最後に人権マスコットが登場し、子どもたちと交流しました。



本に親しむ企画が盛りだくさん

第1回図書館まつり開催

12月3日、第1回図書館まつりがウッドルームで開催。毎年人気の「古本市」では、開場と同時に多くの読書好きが訪れました。また、読書チャレンジ表彰式や図書館見学ツアー、おはなし会など、本に親しむためのさまざまな企画が催され、家族連れなどで賑わいました。